

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 2 年 7 月 8 日

設置・運営主体	上尾市		
設置主体	上尾市		
経営主体	上尾市		
事業所名 (施設名)	上尾市立原市南保育所	種別	保育所
所在地	〒 362-0021 上尾市原市 4 1 6 6		
電 話	048-722-3808		
FAX	048-722-7728		
Email	s174400@city.ageo.lg.jp		
URL			
施設長氏名	田中典江		
調査対応担当者	田中典江	(所属、職名： 原市南保育所・所長)	
利用定員	70 名	開設年	昭和 51 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>理念</p> <p>①すべての児童が心身ともに健やかに育成されるよう努める。 ②すべての児童が生活をひとしく保障し愛護する。 ③保護者とともに、すべての児童を心身ともに健やかに育成する。</p> <p>基本方針</p> <p>①乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、人として生きる力を養う。 ②子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図る。 ③養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。 ④保護者と密接な関係を取り、保育の内容等が保護者の理解と協力が得られるよう努め、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視した保護者支援を行う。 ⑤地域における子育て支援のために、乳幼児期などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	平日 7 : 0 0 ~ 1 9 : 0 0 土曜日 7 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	4	1		
1歳児	10	10	1		
2歳児	12	12	1		
3歳児	12	14	1		
4歳児	15	14	1		
5歳児	15	16	1		
計	70	70	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		14人	
うち	保育士	11人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	2人	その他（ ） 人
非常勤職員数		6人（常勤換算 4.5人）	
うち	保育士	3人（常勤換算	2.8人）
	保健師・看護師	人（常勤換算	人）
	栄養士・調理員	2人（常勤換算	1.2人）
	その他（ 事務員 ）	1人（常勤換算	0.5人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0人	非常勤： 人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 1人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		37.9歳（ 37.4歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		3.3年（ 3.2年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	朝7:00~7:29 夕6:31~7:00 月額2000円・1回利用100円
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 31 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

8 人

・ボランティアの業務

- ・子どもとあそぶ
- ・絵本や紙芝居をよむ
- ・着脱などの介助
- ・食事の準備・かたづけ
- ・ベッドの準備・かたづけ
- ・制作物の手伝い

【実習生の受け入れ】

・平成 31 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 15 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	518.1 m ²	
	児童1人あたり	7.4 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	480 m ²	
	児童1人あたり	6.8 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	51年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・行事後にはアンケートをとり、職員で共有し次年度に生かす。また、全アンケートの意見をまとめ配布してる。
- ・家庭訪問、保育参加、クラス懇談会などを実施し保護者からの意見や感じていること質問などに応じる機会を設けている。
- ・ノートの記述内容などから、心配なことなどや聞きたいことがある時には、担任と所長との個別の懇談を希望に応じて行っている。
- ・苦情解決第三者委員制度を取り入れている。
- ・意見箱を設置している。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・人権保育・同和対策事業の一環として設立した保育所で、地域とのかかわりを大切にし、人権に関する様々な会合に参加し、人権保育のリーダーとして職員や保護者も一緒に学び保育に生かしている。
- ・家庭訪問・市内公立保育所では当園のみ実施している。
- ・地域交流・隣接した集会所や、老人福祉施設、近隣私立保育所との年間2～3回づつの交流を定期的におこなっている。
- ・保育報告会・昨年度、初めて行った行事で写真や動画や子どもたちの姿を保護者や祖父母に見てもらい一年間の子どもの成長を喜び合う機会を年度末に設けた。
- ・新型コロナ感染防止対策で保護者の入室を禁止しているため、定期的に写真などでクラス担任より一人ひとりの保護者に、日頃の取り組みなどを見ながら話し共有する機会を設けている。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

2 回 （平成 27 年度）